リュウマのガゴウ
THE PSEUDO
5
宮下裕樹
YOUNG

妖糸の2番隊!!
オレ同様正統な伝承ではないはずだ
それでこの状況をどう覆すというんだ?
まさか!!
アインス

その男は
父が連れて
やって来た
武の名家に生まれた
私たち姉妹の護衛兼指南役として
男子に恵まれなかった為
父は行く行くは婿にと
考えていたのだろう
あの事件さえ
起きなければ

最初は
つまらん男だと思った

腕はたつが
寡黙で
従順

軍人然とし
意志がないと
すら思えた

一方

私が十六に
なる頃には

軍学校で
文武共に他を
圧倒するように
なっていた

実の姉すら
及びもしなかった

[第25話]

名家で武才を持つ娘がいる
その事はすぐに
王の耳に届いた

当然だ
子を成せぬ
王は

強い子宮を
求めてたの
だから

ここぞとばかりに
父は話を進めた

私に否応の権利
などなかった

初めて姉を
疎ましく
思った

王の身体の特殊性
屈辱に耐えた
誉れのある事なのだと
武家の娘なのだと
調子いいじゃないか
326を投与してみるか
は
用意します
ぎゃあ
ぎゃあ

本当につまらん
男だと思った
……
妊娠
しているぞ
何!? すぐに
出征ゆの王に
待て!
まだ早い!
ここからが
厳しいのだ
ぬか喜びさせて
死罪にされては
敵わぬからな
だが

どうやら父は
強引に事を
進め過ぎていた
らしい
王妃の
逆鱗に
触れたのだ
この妃は同じ事を
していたのだろう
いや 触れなくとも

私は一子の成せぬ身体となった
じゃ…
自分の浅はかさを呪った
自分が置かれたこの場所に
味方など居ない事を今更に知った
すべてこの女に
誰もこの事は語らない
全てを目の当たりにしていながら
王の耳には届きもしない
周りは全て敵だったのだ

ただ二人を除いて

事もあろうに この男は

一国の王妃を

その鉄拳で

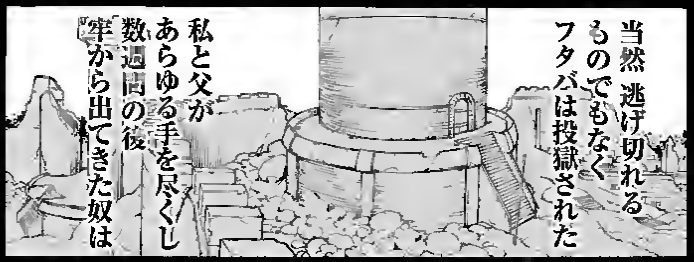
殴りつけたのだ

私は

この時の豚共の顔を

忘れない

後日


当然 逃げ切れるものでもなくフタバは投獄された
私と父があらゆる手を尽くし数週間の後
牢から出てきた奴は

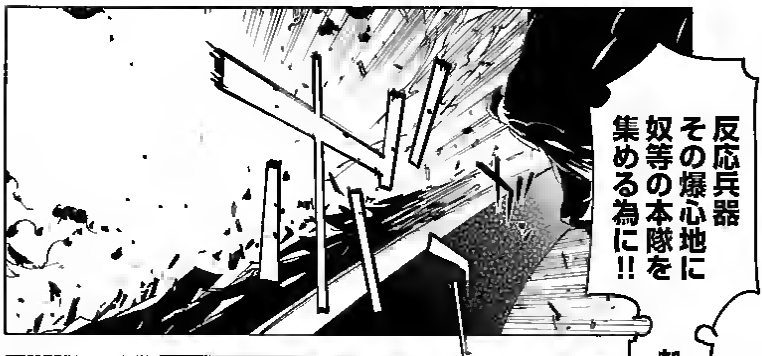
想像を絶する拷問を受けたであろう事は
一目で分かった

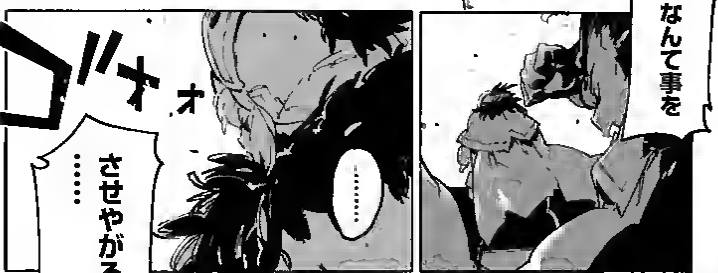
王は その貫き苦に
耐えきった精神力を
いたく気に入り
その様を
鉄の盾と
称し誉めた
思えばこの時
我々のフシドーが
始まったのかもしれない
そして
この時
フタバが見せた
顔を

私は
忘れない

フタバ!!

ソールの黒点!!
これの為に密集陣形(ファランクス)を奴らに憶えさせたのか


反応兵器その爆心地に奴等の本隊を集める為に!!


なんて事を
……
ゴォォォ
させやがるっ……

なんだ!?
地震？
おかしいぞ
この揺れ
だっ
わっ

7時800
Cの4区
確認
ワオ
D区
白皮90%
消滅
残り10%も
ほぼ半壊
白皮
消滅
Bの2区
同じく
消滅
オオ
新種 これは
残存数5%を
切ってます!
我々のっ
勝利です
!!

難民はどうなっている？
新種が入り込む混乱に巻き込まれ
半分は反応兵器で蒸発したかと
石壁がっ
！地盤が崩落するぞ!!

辛勝だな
これ程の被害…
復旧にどれだけ
時間がかかるか
そして何より
新種がどこから
現われたのか
何故こんな進化を
したのか何も
分かっちゃいない
一匹たりとも
逃がすな
皆殺しだ
逃がせば
未曾有の
脅威となる

ゴ
すごい熱だ
これ以上は進めんぞ
ここは五番隊が受け持つしかあるまいな
すまん
七番隊 難民の誘導に向かう

気をつけろ
弱っていても白皮だ
ゴ
ス

自分達で
殺しといて
十字を切る
のかい？
勝手だな
隊将？
なんだ？
生存者？
この熱の中で？

ドゴ
ドゴ
ドゴ
壁にね
穴があいたから
やっと入れ
たよ
あぁ〜あ
僕達は
ルールを
重んじる
これは
テストだから
どちらが
優れているか

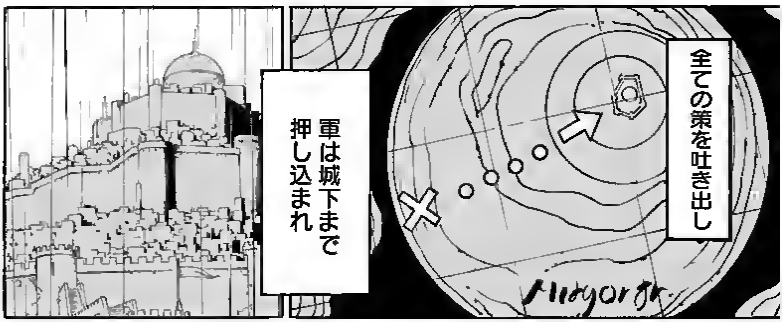
痛覚反応
失われたレシピ
拷問が好き
なんだな
じゃあ
返すよ
10倍で
かぁ
ああ
おい 何だ?
白皮か?
生き残った?
いや外から入って
来ているのか!?
数は把握していた
はずだ

わざと
見誤らせたんだよ

加えて
2千
あなたったら
なんだかとっても
過保護
とっても
干渉しすぎな
気がするわ
ジン
…
止めてほしいな
その名は…
ジッ
あら
とっても
素敵だと
思うわ
だったら
君も一緒に
どうだい

奴等の
大事な城に
毒の豪雨が
襲い
壁を失い
退却!!
兵は疲弊し
民を失い

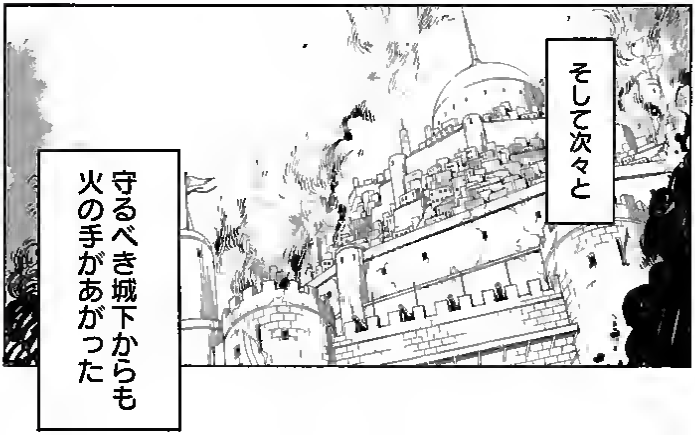
ミズガルズ
千年王国神話は
崩れ落ちた


全ての策を吐き出し
軍は城下まで
押し込まれ

混乱する
城内
特権階級は
逃げ支度に入り
そして一部の
権力者は
王と軍を
批判しだし

王が乱心召された
何を
どこからか漏れ出た情報が錯綜し
妃様達を皆殺しにしたのだと……
バカな ある訳ない
そんな事になればこの国は

この国はもう


そして次々と
守るべき城下からも火の手があがった

白皮が来るぞぉ!!
資材を集めろ!!
そんな暇あるか!! 逃げろ!!
パーキ
食べ物 食べ物ぉ
バカ 何してる
貴様ぁ
何やってんだ軍隊は
ふざけるな!!
やばいやばいって
どうなってんだよ姉ちゃん!!
……

あんた達
大丈夫
大丈夫よ
何が大丈夫
なんだよ
オカマ!!
わかんない
わよ!!
でも
でも
この国には
この国には…
リュウマが

第25話／完

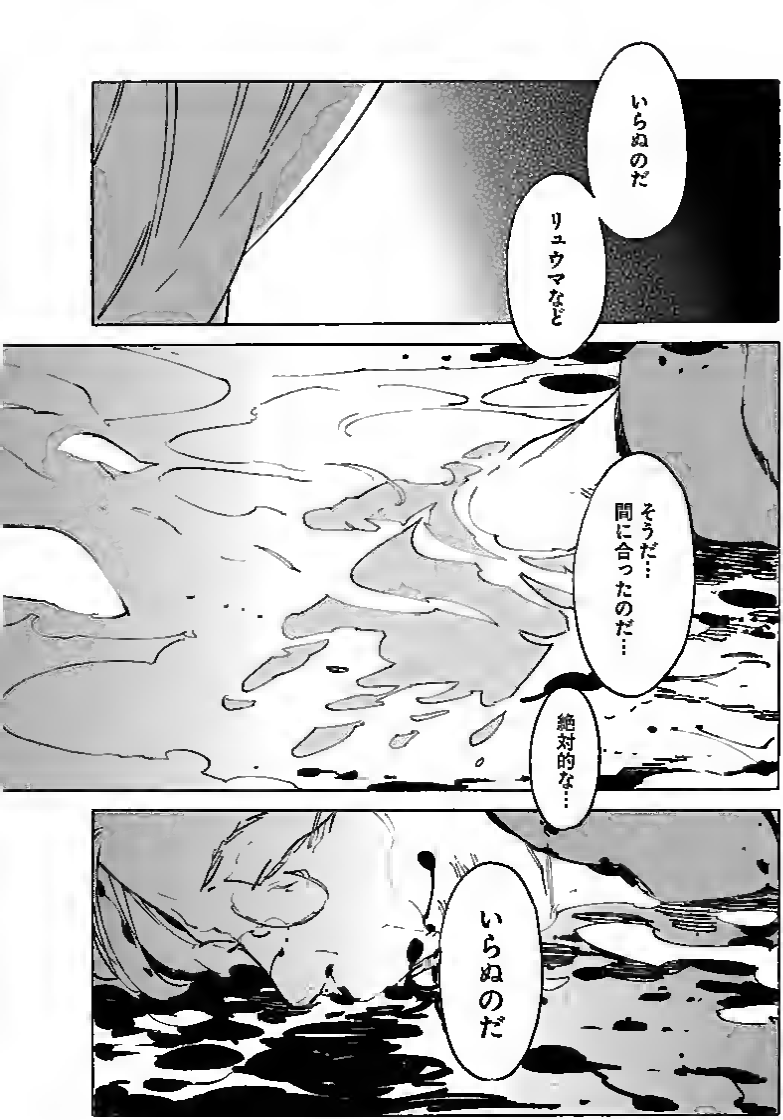
リュウマを名乗った
この男は
西イズールの
白皮を退け交易を
可能にしたが…まあ
しょせんは
盗賊あがり
犯罪者だ

となりのザンギルの
槍つかい こいつも
似たような物だ
しかも志(こころざし)
なかばで死んだ
最悪だ
今なおリュウマを
名乗り出すものは
後を絶たない

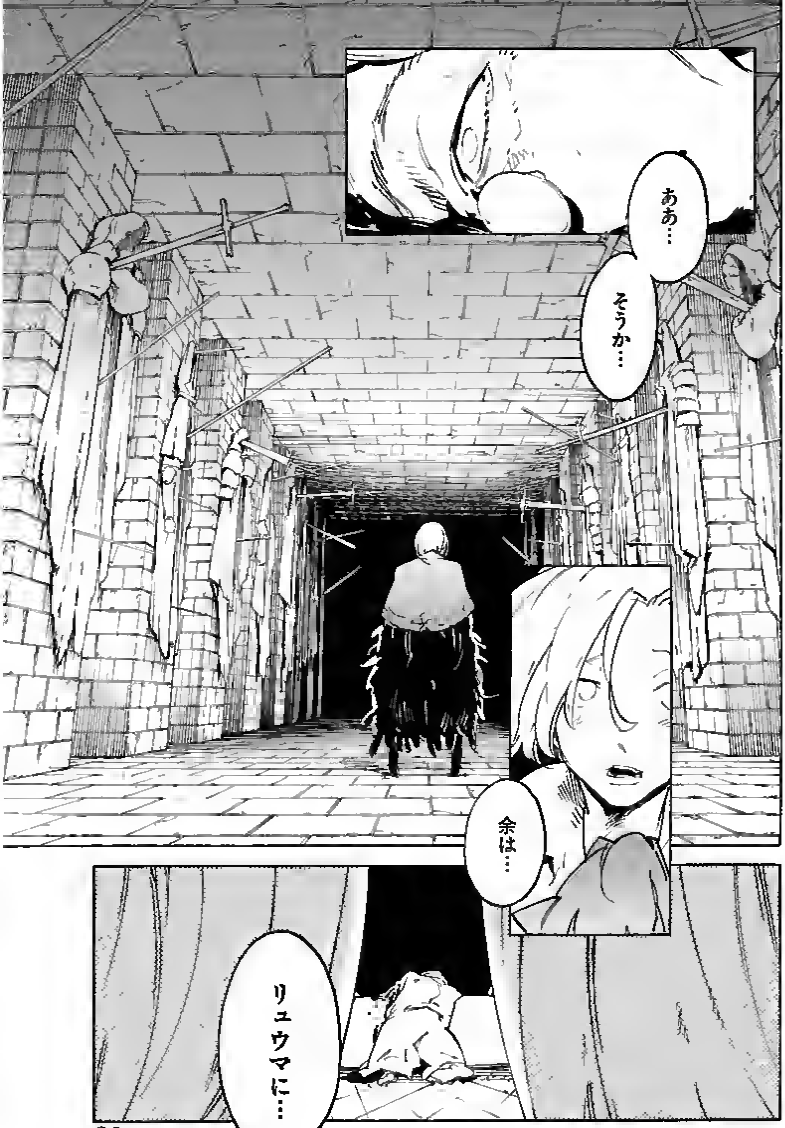
くる日もくる日も
アホウ共の
尻ぬぐいばかり
昨今でまともな
だったといえば

[第26話]

枝折りの男
まあその枝折りも
正しかったのかどうか


いらぬのだ
リュウマなど
そうだ…
間に合ったのだ…
絶対的な…
いらぬのだ

力のない
リュウマは


ああ…
そうか…
余は…
リュウマに…

ミズガルズ
中枢部
下がれ
下がれ
どけっ
この!!
わああ
同
城下南区
難民収容街
くそっ
このガキ!!
のろのろして
んじゃねぇぞ
ニニニ

ぎゃあ!
もっとスピード
だせよ!
ゴ!!!
オオ
どうなってんだよ
これ
どうなってんだよ
!!
同
城下西区
おい南区の
難民キャンプは
もうやばい
らしいぞ
バカな
ゴ!!!
見ろよ
こっちにも
来てるぞ!!
なんて
数だ
軍隊は
何してる!!
くそ
ギリ!!!
貴族しか
守る気ねえのさ
あいつらは!!

くそ!!
どうすんだこれ
アインスは
どうした!!
大隊将は
王のもとに!!
まずは
王の安全の
確保って
わけか…
実際よく
やってるぜ
アインスの奴…
だが
この物量…
この突破力
どうにも…

だめ…数多すぎ
致命傷まで
もっていくヒマがない
……
ウチの隊だけなら
逃げることも可能
だな…
砲撃
手を休めるな
ハニィに
見とれてんじゃ
ないよ!!
だが
国一つとなると
話は別だ

あまりに…
特異すぎる
この新種(ばけもの)は!!
!
誰か下で
動きを止めて
くれてるよ
何!?
どんな
命しらずだ
!!

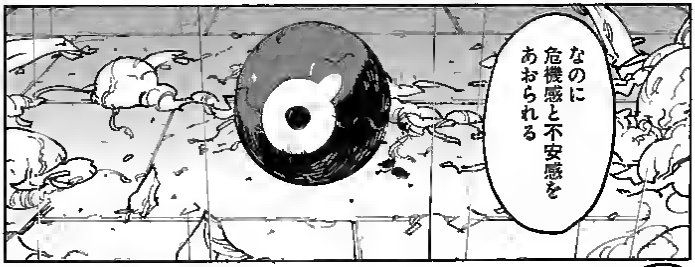
特異だとか新種とか
関係ねぇですよ
ただ
ぶっ殺しゃ
いいんですよ!!
三番隊の
副将か!?
くそ生意気な
ぼうず
ったく あの
ケガで…
無茶もミツハ
ゆずりだな
ハニィをダシに
使いやがって…だが
悪くない
この西区の城壁が
今回の要になる
お前ら
戦局を変えるぞ
…
ん?
ハニィ?
くり

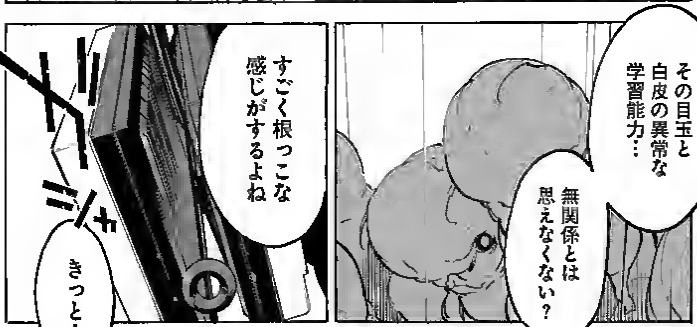
何だ？
なんでこんな所に
ガキが…

なるほど
君達は発掘兵器を
使っているのか
失われた
リュウマの近衛兵団を
受けついでるわけだ…

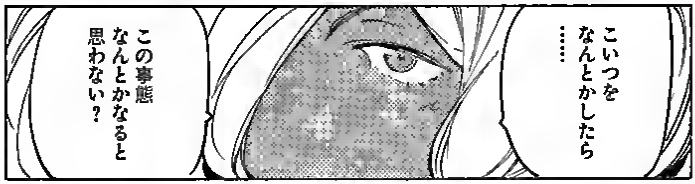
ドガガガガ
え!?ちょっとハニィ!?
ジェームス
ん?
目玉?
おそらく白皮の…
えっ…

ハニィが急所を外した？
ジェームス…こいつ
殺気どころか気配もない
そこに存在してるのかさえ


なのに危機感と不安感をあおられる


その目玉と白皮の異常な学習能力…
無関係とは思えなくない？
すごく根っこな感じがするよね
きっと…

これが
ジン


こいつを
なんとかしたら
……
この事態
なんとかなると
思わない？

ああ…
思うね
でもなんか
オレ

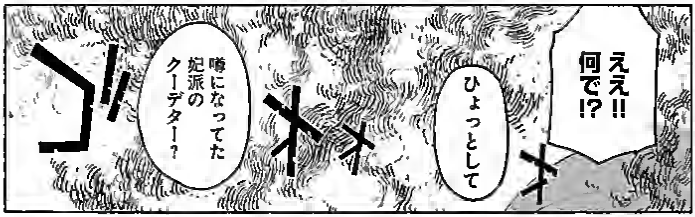
勝てる気がしねえなあ…
じゃあ
それでも勝てたら
抱かせてあげるわジェームス

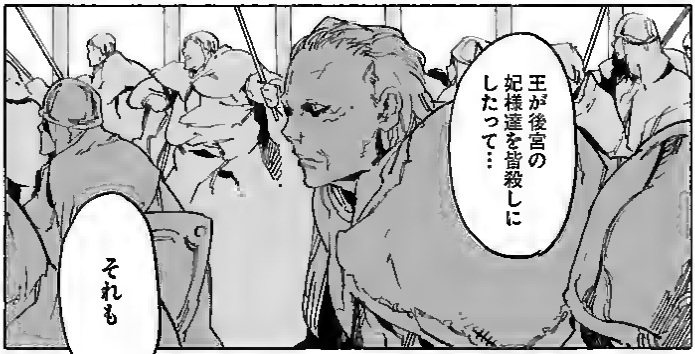
すでに西は大騒ぎだ!!
白皮!? どうしてこんな所まで
ミズガルズ 難民収容街 北区
どうも本命は西か南門らしいな…
ふられちまったか
だが ここを離れるわけにもいかねえ…
まったくじれってえ
同 東区
…

ドン
難民収容街
南区
ぎゃー
わー
うっ

ちょっと!!
どんどん
上がってきてる
じゃない!!
西区の
難民キャンプにも
白皮が入り込ん
でるって!!
あっちは
もっとやばい
らしい
ここも
もたないわ…
逃げるのよ!
どこに
どうやって
逃げんだよ

どこでも!!
リュウマがなんとか
してくれるまでよ!!
そうよ!!
なんとか上の階層に
おい!
王宮から
火の手が!!
なっ!?


ええ!!
何で!?
ひょっとして
噂になってた
妃派の
クーデター?
ゴオオオ


王が後宮の
妃様達を皆殺しに
したって…
それも

魔女の色香で
王が狂ったって…
バカが!!
たきつけられたか!!

この非常時に…
いや…この混乱に乗じて王政をのっとる気か
愚かな…

城下に王妃の件を流したのもこいつらか
権力にしがみつく豚共が

ここは
まかすぞ!!

王!!
失礼します
妃派の連中が
謀反を起こし
ました

ここは危険です
退避を…

貴様
何をした!!
この国の王に
何をした!?

魔女め
全て貴様が呼び寄せたのだな!?
白皮を災厄を
混乱を!!
ガシャ
はぁ
はぁ
なぜ動ける!?
キズが…治っているのか!
魔女だ
王殺しの魔女だ…
まだかろうじて息があるぞ
救護班を呼べ!!

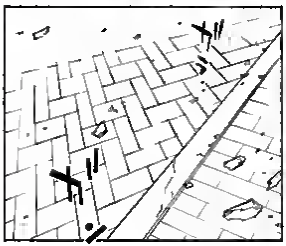
妃殺しの件は…
何にしても
こいつのせいに
決まってる
ドン
ドン
逃がさんぞ
!!

ひかえろ

余の子だぞ

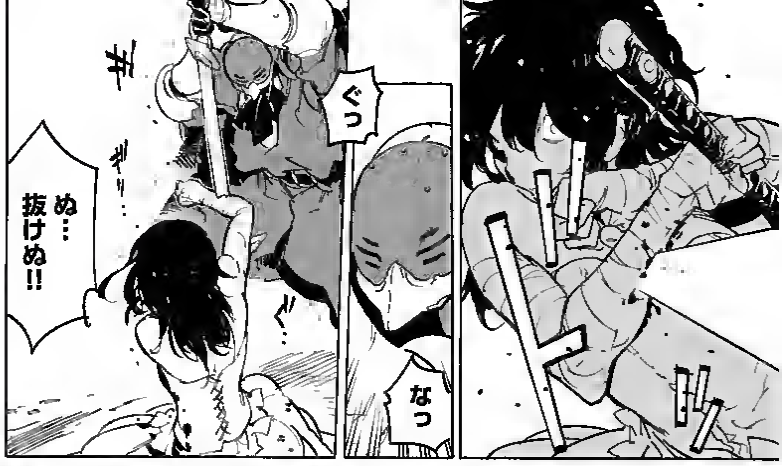
ガッ
ギギギ
ガッ
ドドド

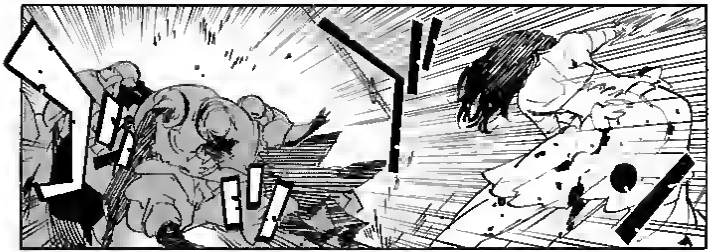
逃げたぞ!!
そんな事より王だ!!
救護班はまだか
急がんか!!

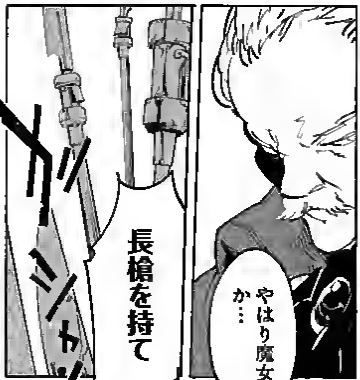

ガッ
ガン

急げ!!

ガラ
はぁ
はぁ
ガラ
バラバラバラ
バラ
ジャ
逃がすわけにはいきませんな…
今は…できるだけ面倒は避けたい
王をたぶらかす魔女…
死んでもらいます


ぐっ
なっ
ぬ…
抜けぬ!!



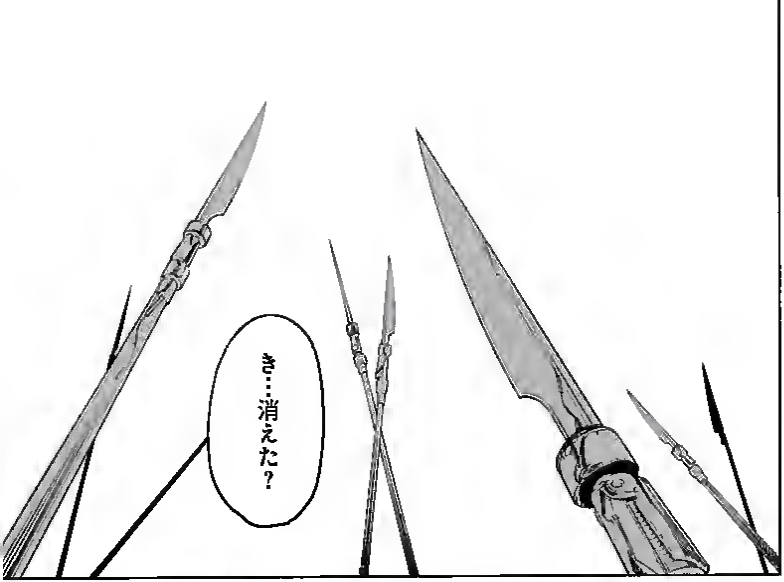

長槍を持て
やはり魔女か…

なっ…

はぁ
はぁ

処分しろ
殺せっ

やったぞ…
魔女を
魔女を
うちとった
ぞ!!
!


き…消えた?

なっ…
なんだ!?
返り血も
ないぞ!!
……
一体どういう
つもりですかな?

どういう
つもり…?

ミズガルズの
兵士が…

第26話 完

［第27話］
それが王妃？
それが一子だと？
いつの間に
！
ヨツバ様なんて姿に!!
こっちにいるぞ!!
不甲斐どころの話ではないようだなヤツハ

その王妃
出自が知れますな…
…い…

知れなさすぎる…か
この富豪将としては
認めるわけにはいきませんな
！

!
なっ…
また…
消えた!?
まさかこれは
繭王の
巫子の
能力?

危害を加えるつもりはない…
おとなしくしていてくれ
どうだ？食えるか？
！
おい…そんなガッつかなくてもまだ見つかりは

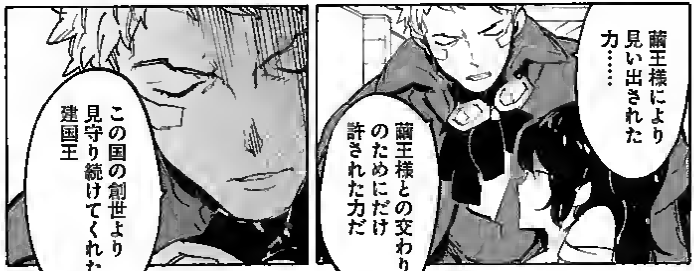
時間なんてないよ
今こうしてる間にも皆が戦っている
ぶっ
うぐっ
バ…バカ言わんこっちゃない
自分がどういう状態がわかってるのか
だ…大丈夫…
身体のつくりが違う

普通なら
治りきらない傷だって
このとおりだよ…
ズズズ…
ドブ…
それに今は
ちゃんと伝わって
るのが
わかるんだ
コッ
…ありがとう

動くな!!
くっ
いないぞ
確かにここに
入ったはずだ
さがせ
ここに謀反人が
いたはずだ!!
隠すとためにならんぞ
え?
?
え
?
なんだ
その顔は!?

はっきり言え!!
奴等は
どこに消えた!!

その力…
なんだと!?
いないじゃ
ないか
何を
言ってる!!


繭王様により
見い出された
力……
繭王様との交わり
のためにだけ
許された力だ
この国の創世より
見守り続けてくれた
建国王

蔺王が
崩御なされた
会いたかった
な
会わせたかった
蔺王様が人のために
おつくりになった
この国
うん…王様にも
前にタンカ
きったしね…

リュウマが
この国を救うって
ならぬ

行かせるな!!
内臓が腐りきっている
刀傷以前の問題だ
子種を残してから処置を受け入れてくれぬから…倒れもする!!

アインス!! 行かすな!!
あの娘を!!
余の子を守れ!!
王…この国は今存亡の危機に瀕しております
とても捜索に割く人的余裕など…

国か
世継ぎ
どちらかお選び下さい

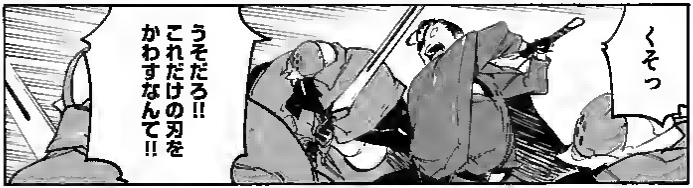
つ……
アインス!!
下がれ
もはや王は
答えられぬ!!
アインス様
これ以上は…
王!!
!
……

何故だ
何故今になって
リュウマなどと

神速
抜刀!!
そこ!!
休んでんじゃ
ねえですよ!!
弾幕を
きらせば一気に
入り込まれる!!
七番隊!!
さっきから何を
手間取ってん
ですかい!!
こっちは
これ以上は持た
ないですぜ!!
!

七番隊総出で
カタをつけられないのか

何なんだ…
あいつは…


くそっ
うそだろ!!
これだけの刃を
かわすなんて!!

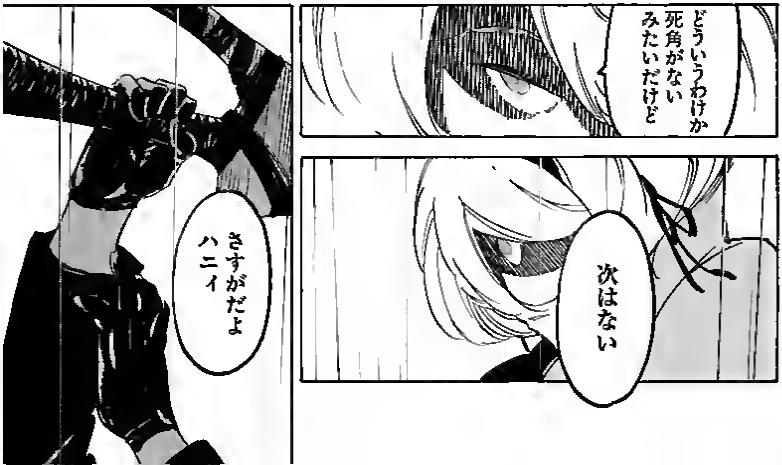
なるほど この剣
自らのDNAを
配合することで負荷を
軽減させているのか

!!

この目を
君の視神経と
直結させることで
超人的な見切りを
可能にさせてる
わけだ
くっ
なのにどうして
当たらないんだ!!
イ…

くそっ
何でこれが
よけられる
どんな
反射神経
だよ
あたってるよ
私のは

流石だよハニィ♡
だからこそ不気味だけどね
貫通してるだけ
やっぱり普通じゃないってことか…まさか不死身とかいうんじゃ…
でも大丈夫じゃない？
頭をかばって動いてるっぽいから


どういうわけか死角がないみたいだけど
次はない
さすがだよハニィ

な…
なんだかとっても
手こずっていた
ように見えたわ
僕の能力は君ほど
戦闘向きじゃ
ないからね

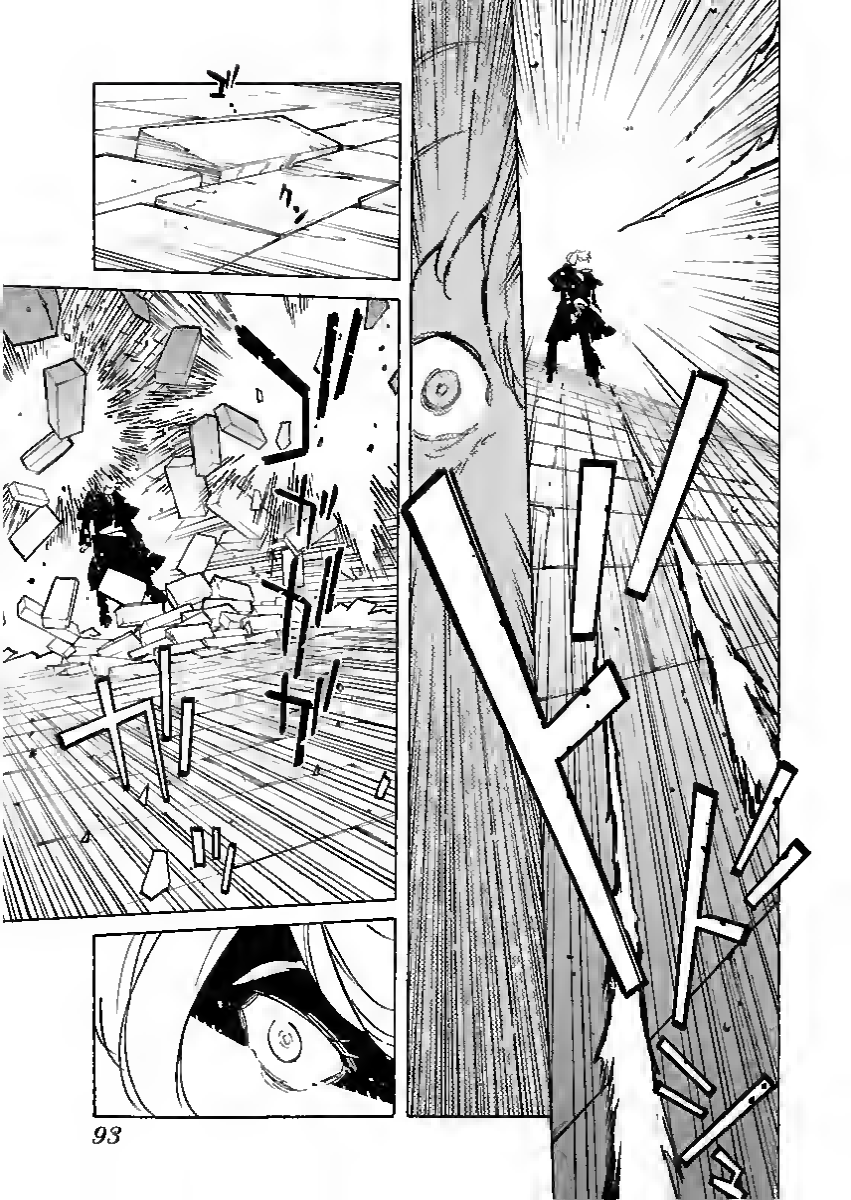
副将!?
何故…ぶっ

ぴ
ぴぴ

精神感応(テレパス)
そう君には近づけなかったから
周りから行かせてもらったよ

ずっとむかついてたんだよ
クソ女オレからこの眼だけじゃなく七番隊隊将の座まで横から掻っ攫いやがってそれだけじゃねぇずっとアゴだ
アゴでコキ使いまくりやがって何様だってんだずっと辟易してたんだよお前の気紛れでどれだけ隊が乱れたと思ってんだよ
知ってるわジェームス
クソが
最悪だこんな
こんなっ
それでも愛してるよハニィ
…

それも
知ってるわ
ジェームス


ドドド

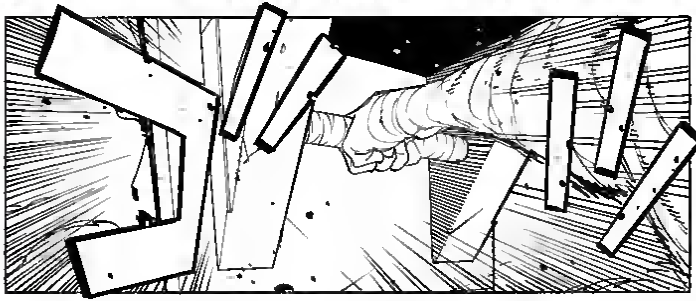
とっても
あぶなかったんじゃ
ないかしら？
…それでも

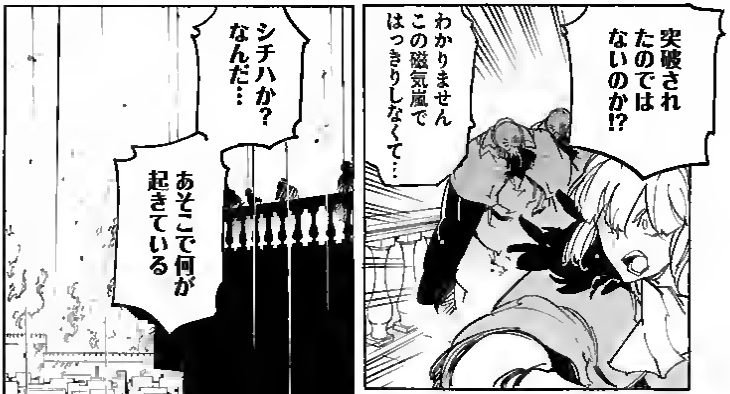
結果は
変わらない
ゴキ
ゴリ
ゴリ
ゴリ

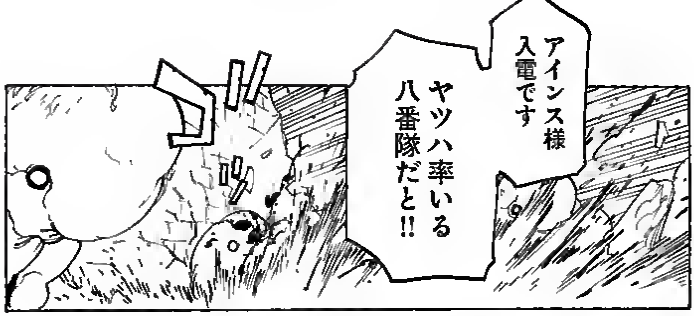
アインス様!!
西門が突破
されました!!
あの七番隊が
やられた
ようです
西区に白皮が
入り込んで
来ます
早々に
手を打たねば
ここまで入って来ます!!

白皮に加え
異能者まで
現われたとか?
異能?
まさか
ジン
なのか!?
指示を
アインス様!!
民衆が逃げ
遅れています
このままでは
アインス様
ギリ…

西区の白皮の侵攻が
止まっています




突破されたのではないのか!?
わかりません この磁気嵐ではっきりしなくて…
シチハか? なんだ…
あそこで何が起きている


アインス様
入電です
ヤツハ率いる
八番隊だと!!

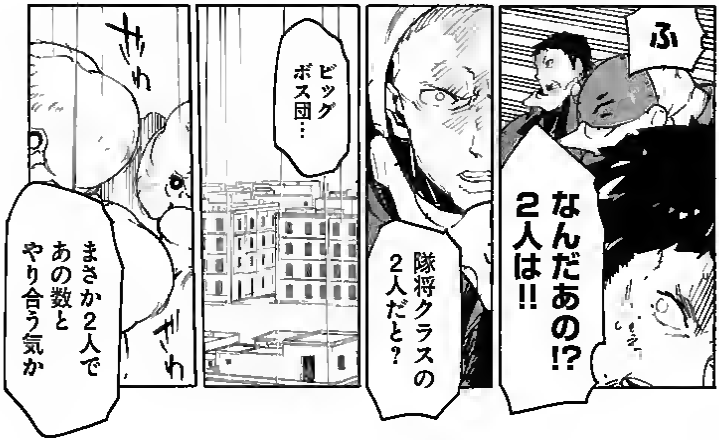
ヤツハ
だと?
ヨツバの話では
あの娘を助け逃亡
したはずでは…

その八番隊
が…
といっても
2人組らしい
のですが
その2人が…
あの「枝折り」の
リュウマの旅団

第27話 完

[第28話]

枝折りの
リュウマの旅団


ふ
なんだあの!?
2人は!!
隊将クラスの
2人だと?
ビッグ
ボス団…
まさか2人で
あの数と
やり合う気か

六連ボール
接抗穿バン
なんだ？何故
白皮はあらぬ所を攻撃していた？
そんな飛ばして大丈夫かい？相手は2000だよ
問題ない

弾は2000以上
残っている

計算上は
僕一人で
事足りる
冗談だ

ドオ

僕の能力が
通る今のうちに
多少の無理を
してでも

あはははは
いいね！それ

見せておく必要があるんでね
少しでも信を取り戻すために
大丈夫ですか副将!!
これは脊髄が…
はやくしろ!!
聞く耳を持ってもらうために

そうだねそれが
君の戦い方なんだね
じゃあ私は

こっちで遊んでもらおうか
かわ

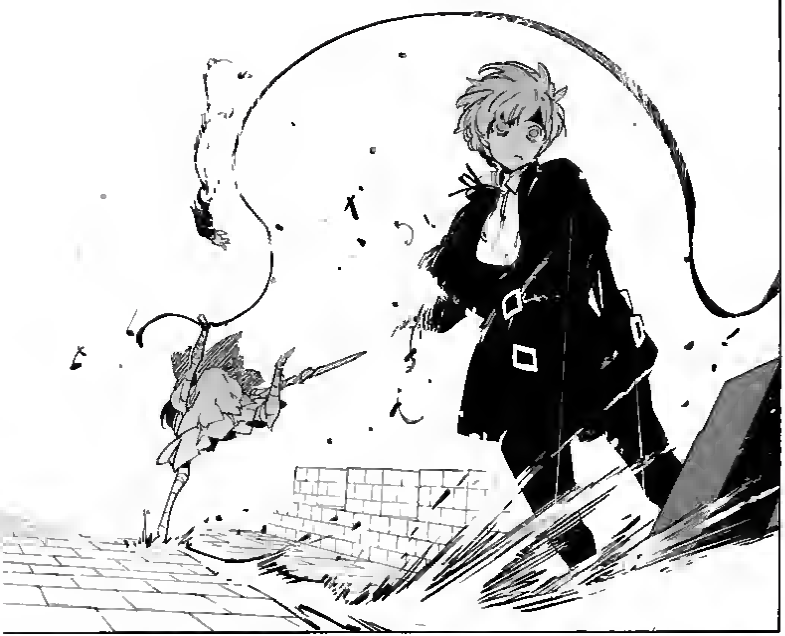
だから あいつの
相手は私だって
言ってるそばから
何やってんの
……
すまない
いいよ
2000
相手にするよか
わかりやすい

そうだろ
物欲(ものほ)し竿
さすがに
出し惜しみは
なしだ
ゴゴゴ
ヘ
子袋か
しっかりと
破棄しとか
ないから
あれが
君の所の…

こう

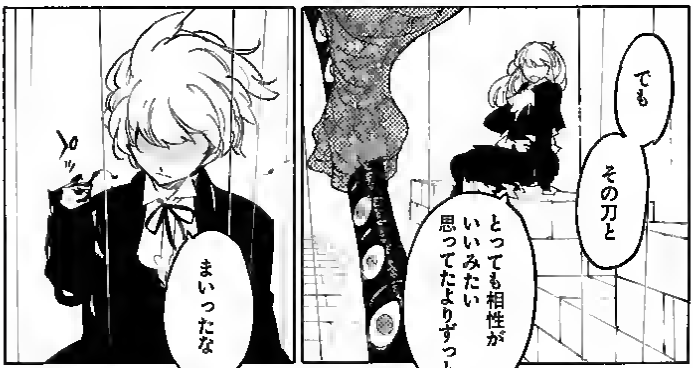
めんどうな
ことになる

ニヤ

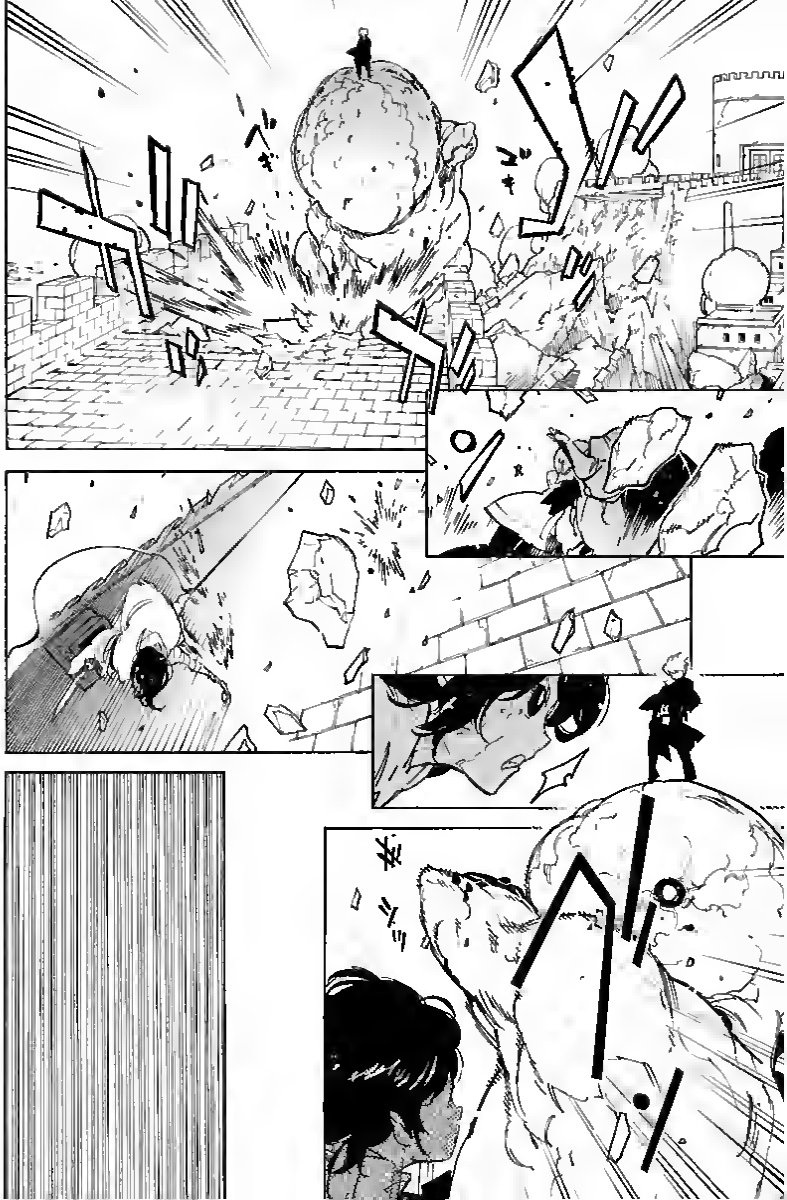


なんだ
今の
ガラ
何者だ
あの女
私の技と
怪力は
ゴ!!
ゴ!!

あの人
ゆずりだ
あら
ただの
遺伝子操作だと
思うのだけど


でも
その刀と
とっても相性が
いいみたい
思ってたよりずっと
まいったな

僕の力は
こういうのには
向いてないのに…
仕方ないね
こいつを
使わせてもらおう
まずは2倍に
鼓動を速めて
みようか



14号防壁やぶられています!!
このままでは西区に続き
難民街を突破されるのは時間の問題です
アインス様!!
憲兵18・19班を平民階層までひかせろ!!
それが…この磁気嵐のせいか…もしくは通信兵が戦死したか…入電できません!!
なら通信弾を使え!!

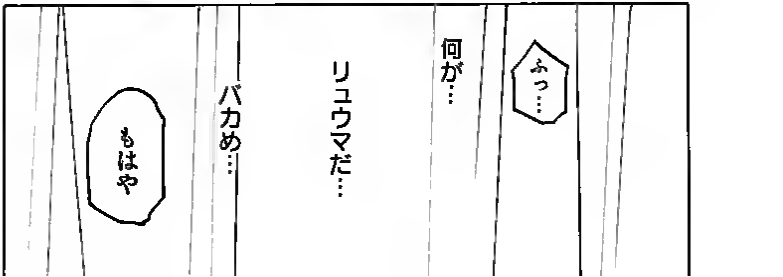
南区の状況を報告させろ!!早馬を使え
これもどこまで届いているのか…
人員が足りない
統制もとれず
もはや軍の体すら成していない
これでは…
？…

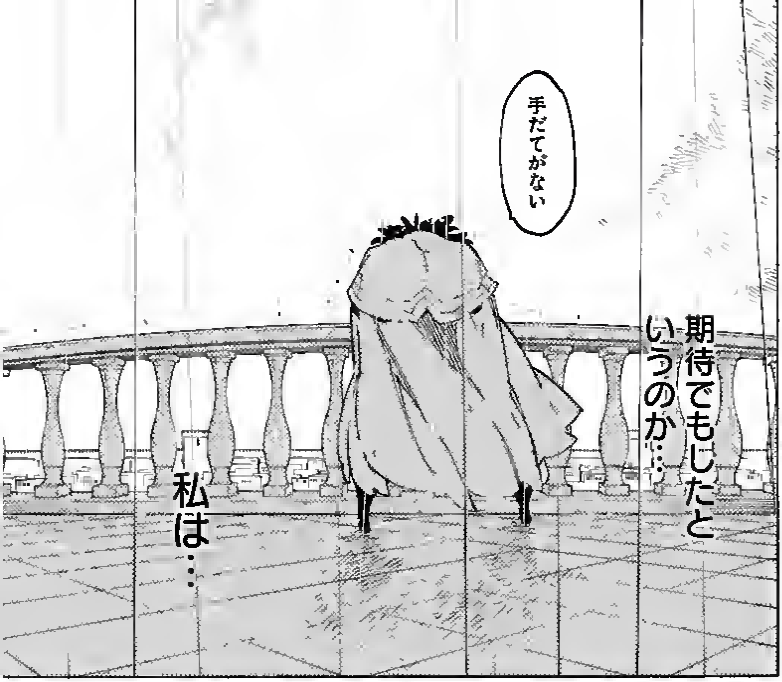
西門
八番隊はどうなっている
ビッグボ…八番隊ですか？
そうだと言っている!!
は！
西門は敵の主力が攻めこんで来ています
ゴゴゴゴ

一番過酷な状況ながらどうにか持ちこたえています
ここまで持つのは…奇跡といえます！
しかし…

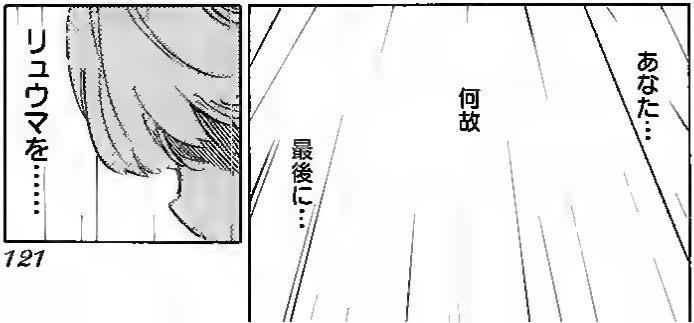
苦戦しているようです
あとどれだけ耐えられるか…

当然だたった2人で何ができる


ふっ…
何が…
リュウマだ…
バカめ…
もはや


手だてがない
期待でもしたというのか…
私は…

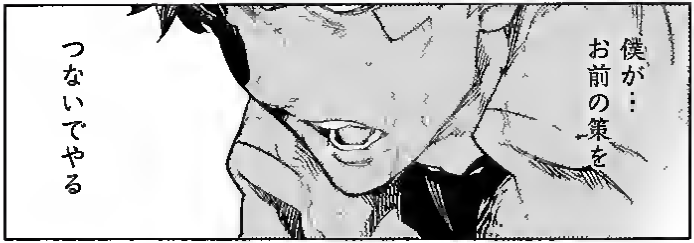
王よ…

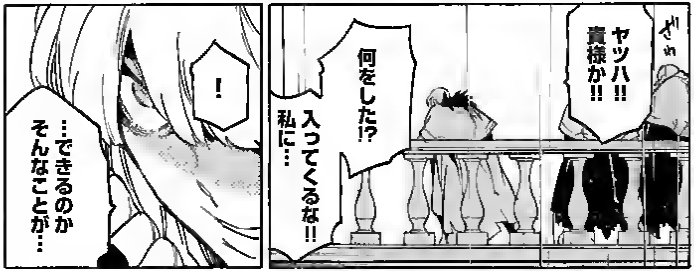

あなた…
何故
最後に…
リュウマを……

？
アインス様？

アインス

僕を使え
アインス


僕が…
お前の策を
つないでやる


ヤツハ!!
貴様か!!
何をした!?
入ってくるな!!
私に…
!
…できるのか
そんなことが…

待て…貴様

これは…
耐えがたい
痛みの感覚?
脳が…
死にゆく音
ヤツハ…
本当に
できるのだな?

僕ならできる
やってみせる
僕がミズガルズ軍を…
お前の軍を一つに…
ヒュン

なるほど…
やるからには
遠慮などないぞ
貴様がどうなろうと
知ったことではない
使い倒してやる

南区難民街
憲兵駐屯所に
通達!!
第5ブロックまで
後退!!全ての装備を
捨て全力で後退だ!!

ひっ
駄目だ
すごい数だ
ゴ
ゴ
ゴ
ゴ
っ…

しかし
死守との命令だ
意地をみせろ!!
待て…
今
アインス大隊将
の声が
第5ブロックまで
退却しろと…
はあ!?
何を
世迷い言を
でも…
退却しろ
バカ者!!

うわあああ!!
ゴッ
わ
わ
おいこの先は確か
!! そうだ袋小路だ
でもアインス様が!!
たす
けて

まったくいきなり呼び出したと思えば
人使いが荒い
テ…テンバ様
何だ？新兵じゃねえかこいつら…

我々は
桜花運用部隊
第2訓練生です
桜花？
そこに運用前の
新造桜花が
残ってる
丁度いい所に
人手不足だ
いってこい
キュラ
オーライ
オーライ
どうなって
やがる…
タイミングが
よすぎる
ゴ
ゴ

ゴォォ
十蓮隊
六番隊!!
た 助かった
物資の補給が
きたぞ!!
ありがたい!!
増援だ!!
まだ
戦えるぞ
ゼッ
ゼッ
ドドド
くっ
弾切れか

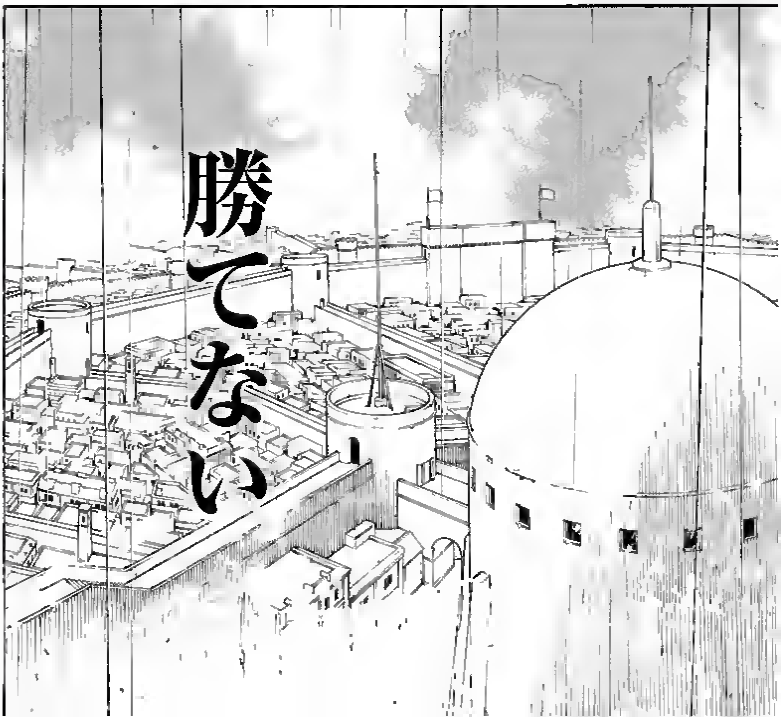
ヤツハ殿
手伝わせて下さい
チャ
そうだ
残っているのは
実弾だけじゃ
ない
まだ現存する兵
あらゆるロスを
減らす
効率をもって

貴様らを
退けてみせる
ドゴ
ドゴ
やるね
ゼキ
ゼキ
次は…

第28話 完

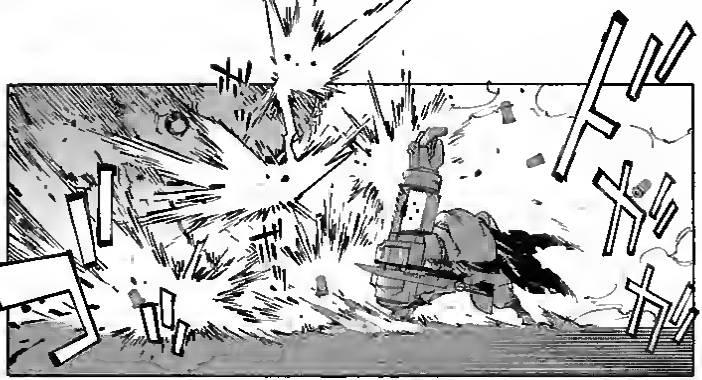
[第29話]

この戦は



ミズガルズ首都
王宮
貴族院
平民地区
難民収容街
ミズガルズ国王
昏睡
初代国王
蘭王崩御
西門崩壊
ビッグボス団
(ミズガルズ軍8番隊)
ミズガルズ軍総指揮
大隊将
アインス
西門防御
ミズガルズ軍
7番隊 壊滅
3番隊
(残1名)
■白皮後続隊(約2000)
■ジン 男/枝なし
ソールの黒点発火点
ミズガルズ軍
2番隊 消滅
5番隊 再起不能
スヴァジリファリの石壁
白皮本隊
総数約2000

桜花部隊
西区516
配備
南区
第8歩兵隊
補給
救護班
西区に向けて移動
ヤツハ殿


ドゴ
ガガ
ゴゴゴ

ヤツハ殿
大丈夫ですか!?
大丈夫だ 弾を込めてくれ

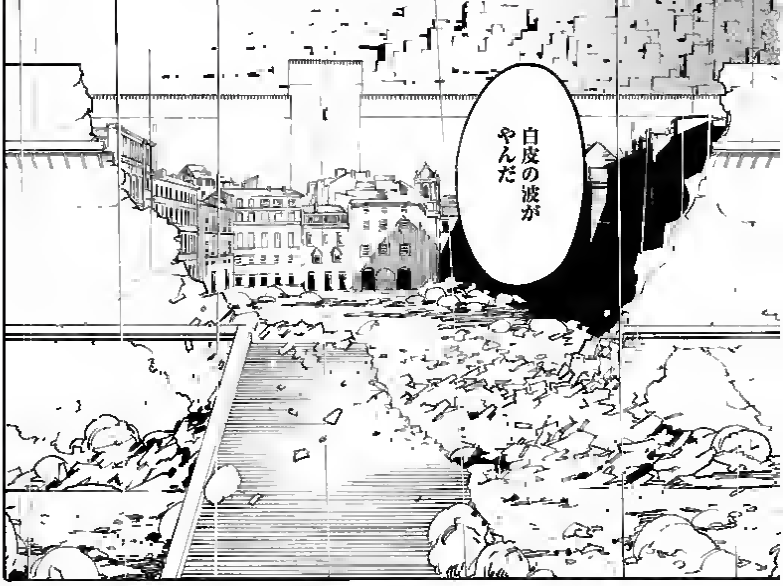
せっ
?…
はあ
するまじいな…

隻腕は肺に病巣があると聞いたが…
無理して鼓舞してるのよ
ハニィ右にあと2度
あーもう背中のキズのせいで狙いも定まらない
ビッグボス団を名乗ったのも士気をあげるためか…
実際 不思議と連携がとれてきてる

そりゃ一人で
これ以上やられたら

三番隊の名が
落ちちまうんでね

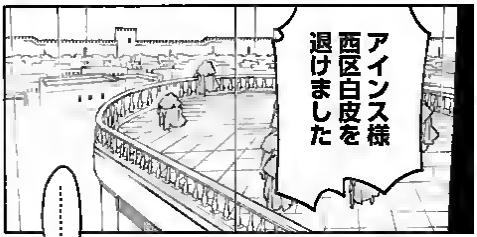
ハニィ
そうねジェームス


白皮の波がやんだ

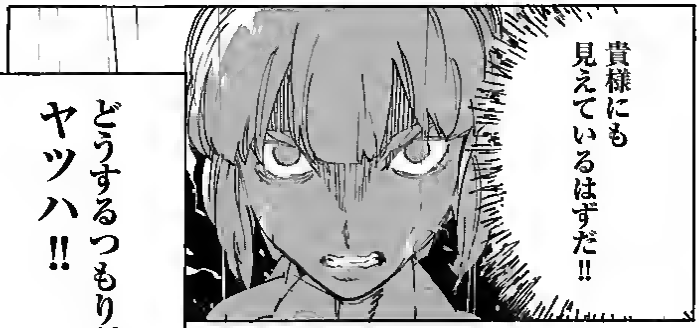
ゴオン
ガラ
数匹残っているが統制のとれてる今なら問題ない

一時の凪か

ここから…始まるのだ


アインス様西区白皮を退けました
……

すでに城壁は
破られた
あとは
ファランクス陣形による
圧倒的総攻撃
端から押し潰す
だけの物量戦
それでおしまいだ


貴様にも
見えているはずだ!!
どうするつもりだ
ヤツハ!!

そうなのか!?
そこまでの状況なのか
アインスの読みだ間違いはない
ヤツハ殿？
ローダーも頼む
！
ヤツハ殿？
動揺するな僕があせってどうする
まさか…目が？
！

わかっている
僕がリュウマの器でないことぐらい
だからこそ…
できることもある！

すごい
何者だ
あの娘…
よこせ!!
たかが
人ひとりに
この状況が
くつがえせる
とでも言う
のか!?
チ
ッ
ゼ
ッ
チ
ゃ
いや…
そうだったな

もはや人ではなかったな
それにこいつだって
その全部…か
普通と違う故に精神感応に耐性があるのか
何らかの邪魔があるのか
「枝」から離れすぎているとはいえ…

心臓がパンクする程に
酷使してはいるのに
ゼキ
ゼキ
そうか
君も同じことをしてるのか
その刀の力で…

確かに
速鼓動は
体躯が小さい程
その恩恵は大きいが…

これは異常だな
そうやって
おんた達は
自分達で造った
この子達すら
道具のように
使い捨てる
全ては
君達のため
なんだけどね

余計なお世話というわけだ？
ﾋｭｰﾋｭｰ

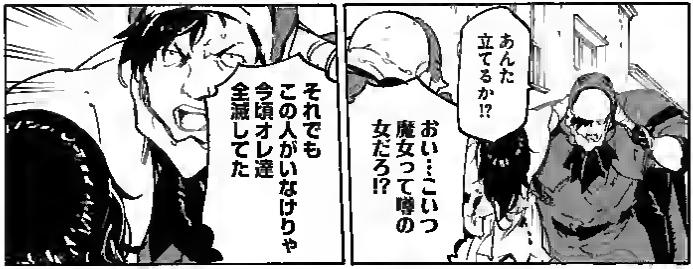
ではお世話ついでに
君達が「物欲しそう」と呼ぶその刀
人が最も戦に秀でていた時代の代物だけのことはある
そして その圧力に耐えうるその身体たいしたものだ…
が

君は耐えられても
君のその腹に宿る物
その小さな命には
酷なんじゃないのかな
ぐっ…

あはっ
とってもいい表情だと思うわ
どっちも
あ……

!?
だ
大丈夫か
ズゥン
ガ。
ひ。
この一撃で
形勢逆転だ
体躯の差とは
そういうものだ
ズゥン

兵器が
身ごもっていちゃ
こうなるのは
目に見えてる
別にしなきゃ…
そういうのは


あんた
立てるか!?
おい…こいつ
魔女って噂の
女だろ!?
それでも
この人がいなけりゃ
今頃オレ達
全滅してた

ぬ…る…
くっ
勝手にしろ
だめ…
へた…
あんた!

どうしよう…
これ以上…
戦えない…
くっ
バカ
ほっとけ
こんな化物女
うるせえ
オレは
ガキん時から
ビッグボス団
びいきなんだよ

さあ
これで
おしまいだ
にゃ

なんだかとっても…
この娘は いいサンプル
だと思うの
持って
帰るべきだと
思うのだけど？
まあいい
当初の目的どおり
事を
進めよう

さあ
おもちゃ箱だ

ひっくり返せ
好きなだけ
いっ…
ひっ

好きなだけ

アインス様
平民区にまで
白皮が

一体
どうすれば!!

あれを
見せつけられて

統制など
とれるはずもない

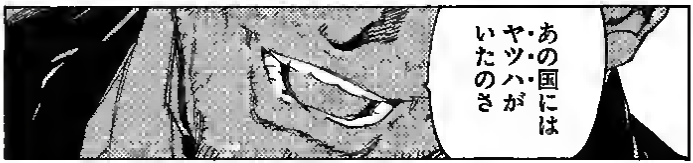
いくら声が届こうが
あの場を
支配するのは
おまえ
待って!!
待ってよお!!
ひっ
どけ
邪魔だ
ギ
ああ

恐怖
やめて…
やめっ
ヂュ
チュ

ヤツハ殿ぉ!!
申し訳ありま…
みり!
っ…
みり
ズシャ
うわ
わああ
待ってくれ
戦うんだ
今
退いたら
この国はっ
駄目だ
止まらない

もう僕じゃ
この流れを
止められない
この
恐怖を

その時
誰もが思ったさ
ミズガルズは
おわりだと



第29話／完

いやあああっ
駄目駄目
だ…

誰にも止められない
ど…ん

たとえ絶対の王であったとしても
この流れは
誰にも

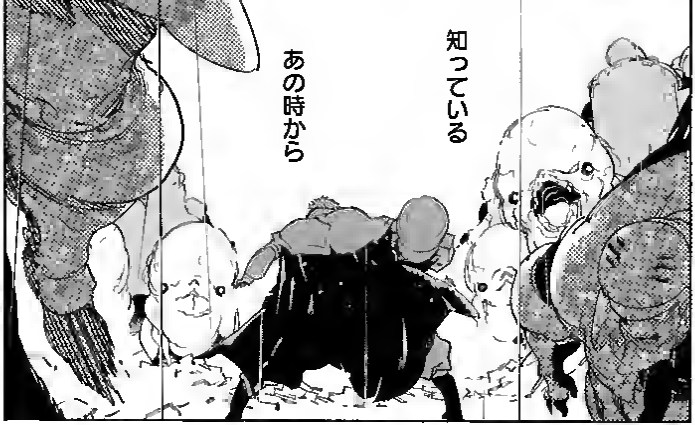
あの場は
支配されたのだ

［第30話］

恐怖に

貴様の
本性が

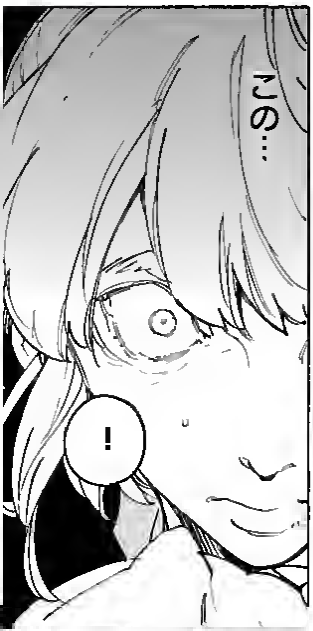
ヤツハ
伝わっているぞ


知っている
あの時から

姉が死に
貴様だけが
生き延びたことを
知った時から

逃げ落ちたのだ
貴様は

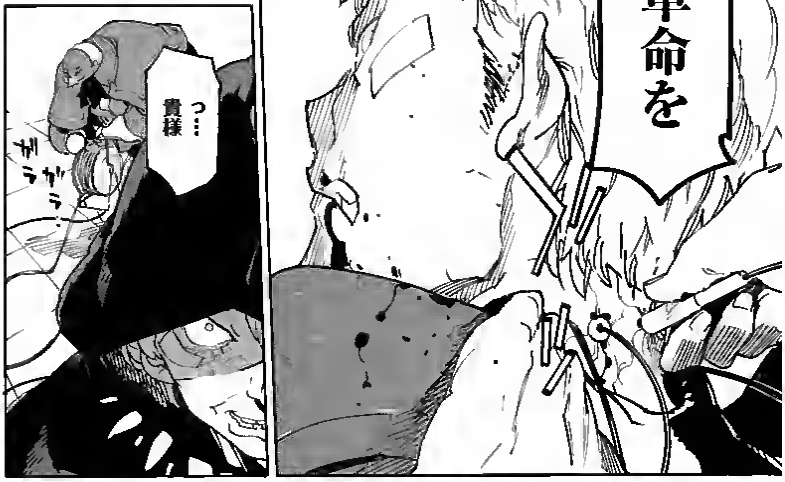
そして その醜態


この…
！

ボルドォ!!
はやくしろ
もっとだ
もっと深く!!

なんだ!?
何をしている!?
もっと
深く!?
ヤツハ…
たった今でさえ
意識を持って
いかれてたぞ

持ちなおした
問題ない
パカな
繭王様が
崩御された
ばかりで
そのシステムを
使うなどと…
なんたる不届き
許しは頂いてる
どうだか
貴様の
望んだ物を
見せてやると
言っている


革命を
貴様…？
ガラガラ…

だからはやくしろ!!
!
どけ!!
っ…

大体なぜ前線なのだ!!
作業がしづらくてかなわん
状況を肌で感じとる必要がある
何より!!
こいつらを放って下がれるか!!

っ…そんなことが
本当にできると
思っているのか
できる
藺王様の
記憶を掘り起こす
このシステムを
逆流
させれば

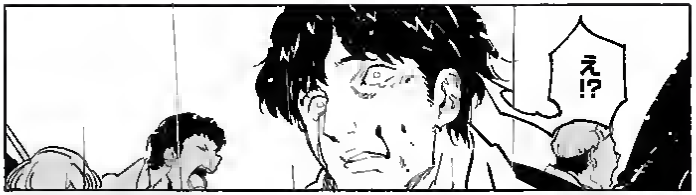
かぼそい
藺王様の
思念を増幅
させたように

ボクの精神感応を
肥大化させられるはずだ
あの場を支配するは
恐怖

そして
恐怖が
人の思考を
止めるというなら
僕が
この国
この国の民
全員の

恐怖を

ひきうける


え!?

うわっ
あ…こいつが邪魔するから…

あ…

なんで人を…
どの道
助からないのに

国中の
よどみが
死が
入ってくる
無茶にも
程がある
いきなり脳波が
ふりきれてる!!
切るぞ!
切るな

はやく
きってくれ
きるな
つづけろ
無理だ
こんなの…
正気か？
いや正気など
たもてるものか

10万の民の
しかも
最も濃密な死を
前にしての共有など

自我が希釈し
消え失せるか
莫大な情報量で
発狂するか
どのみち
人が耐えうる
ワケがない

……
ぼ…
僕は
知ってる

僕は
この恐怖を
喪失感を
恥辱を
屈辱を
悲壮を
罪悪感を

!

そうだ…
僕は逃げ出した

絶望し
見捨て
助けられ
嫉妬し
あきらめた

僕だから

僕だからできることが……
ギリ……

くそっ 強く意識をたもて!!
何でもいい 傷みでも欲望でも心を繋ぎとめろ
意識の激流におし流されぬ
強い自我(イメージ)を!!

……
バカが
喪失（ロスト）した

ふざけんじゃねえですよ
何かやるならさっさとやりやがれ
コォォォ
もういいかげん限界ですぜ!!
もうこっちは神速に腕がついて行かねえんですよ
ボッ
あー やばい
もう弾切れ…
シャ

そんな…
すぐに助けます
いいのっ
それより
その子を
守って
そんな…
おいてなんてっ
逃げて!!
あたしはいいから
逃げなさい!!

はやく行けって
言ってんだろクソガキ共!!
あ…
ずっと

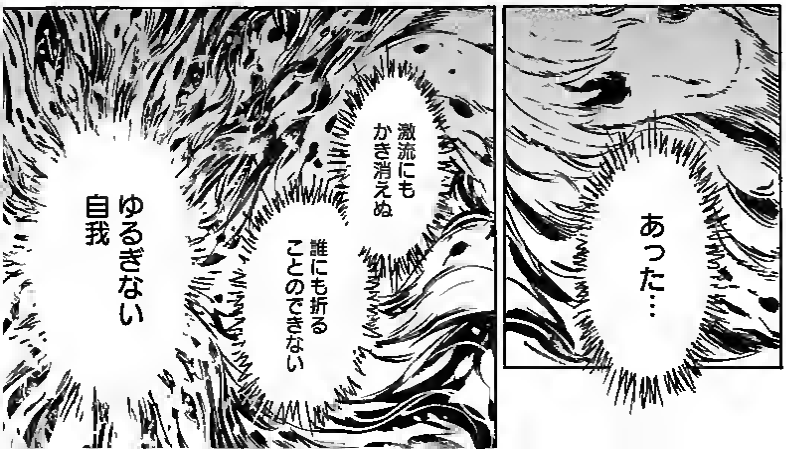
ずっと
探してたんだ
あんたを
聞いてたよ
あんたのこと
あの人は
しばらく
生きてたから
なっ
でも動けない
リュウマは人前に
出るべきじゃ
ないって
あんたに
見せたくなかった
んだと思う…

よくあんたの話をしていたよ
いけすかない格好つけのチビがいるって
格好つけだからビッグボス団が全滅したらそいつはリュウマを名乗るかもなって…
代わりはいくらでもいるんだ
気にせず全滅して来いバカゴリラ
何せそのチビ仕事が仕事だけに
やたらリュウマに詳しいって
あの王様も
相当なリュウマコンプレックスだが

あのチビの

リュウマ好きは

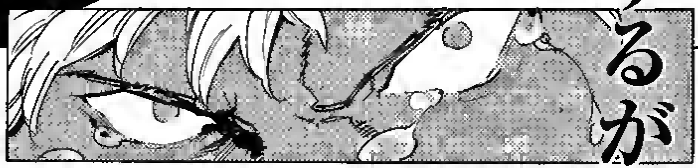
群をぬいてる



あるじゃないか
僕の中に

僕は
リュウマには
程遠いが
誰よりも
リュウマを
知っている
リュウマは

ゆるがない

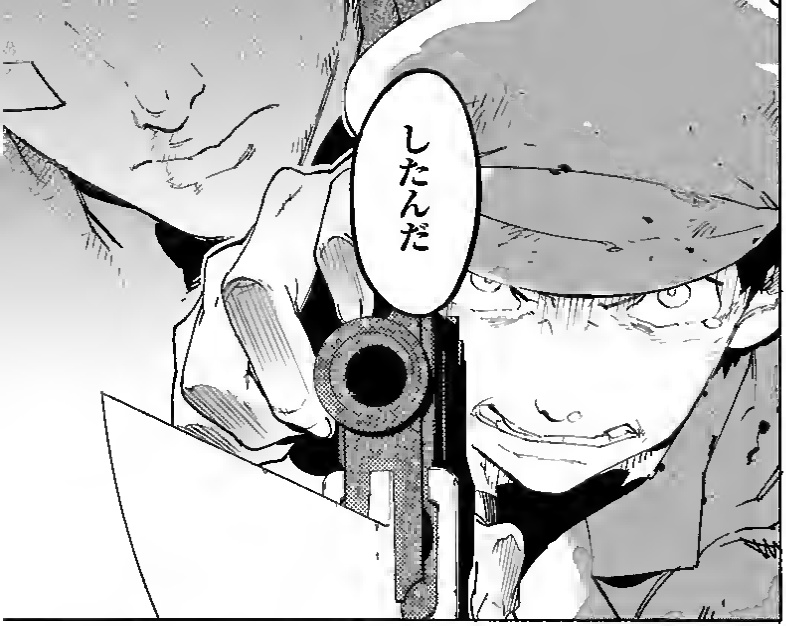


あ
ああっ
ガチガチ
ガチガチ
なんで…
この足
ガタ
ガタ
ガタ
動かないんだよ…
ガタ
あ
いやあ
あ
ごめん
ごめ…
ツ…
ツ…

その汚い手をはなせ
化物ぉ!!

勇気
ブレイブ
ガッ?
ｷﾄﾞ.

あたった？
ナイス
タイミング
お手柄だ
あの貴族の
おかげで
タイミングとれた
あんたら
下がれ
次がくるぞ
こうなったら
やってやれだ
弾がき
あつめろ!!
ああ
そうだ
確かに
そんな風に
背中をおされた
そんな気が



「リュウマのガゴウ」⑤／完

少年画報社

http://shonengahosha.jp

電子書籍版

リュウマのガゴウ

5

宮下裕樹

©2014 宮下裕樹／少年画報社

eBOOKで
快適読書生活

http://www.ebookjapan.jp

Digital Distributor
eBOOK Initiative Japan Co., Ltd.
http://www.ebookjapan.jp